

未来への投資 2年め、さらに前へ

当初予算の説明
(7ページにも掲載)



昨年度スタートした、5か年にわたる“未来への投資”期間。2年めとなる令和6年度は、ひとづくり・まちづくり・しくみづくりに関する6つの分野の重要施策に計4.4億円の予算を計上し、より元気なまちをめざします！

ひとづくり 学びの支援

子どもも大人も
市民の学びをかなえる

0.2億円

▶ 多様な教育ニーズに応える

通常学級に在籍し、学習・生活に困り感のある児童生徒によりきめ細やかな指導支援を行うため、通級指導教室の人員や教材など環境を充実させます。また、不登校や教室に入りづらい場合のサポートも拡充。市単独の校内教育支援員を新たに配置し、登校後教室に入りにくいなどの児童生徒を受け入れる「校内教育支援ルーム」の体制を充実させるほか、登校できない子どもをサポートする「フリールームなわて」でも相談員が対応できる時間を拡充します。

▶ 「学び直しのまち 四條畷」へ

キャリアアップをめざす大人の学び直しを支援します。学習や資格取得にかかる費用を援助する制度を新たに作るほか、関心がある人への相談対応やフォローアップなどの支援、普及啓発のためのイベントも開催。



東 修平 市長より (令和6年度市政運営方針から抜粋・要約)



都心に近い緑豊かな住宅都市、四條畷。生まれ育ったこのまちを、すべての世代が希望を持って暮らせるまちにしたい。この思いを胸に、平成29年1月より約7年間、市政運営にまい進してまいりました。長きにわたる行財政改革を経て、財政の健全化を達成したとの判断のもと、削減を主体とした行財政改革プランを終了させたのが令和3年度。4年度には、「未来へつなぐ、持続可能な財政運営の実現」を理念とする中期財政計画へと移行しました。そして5年度からは、人口ビジョン(改訂版)に掲げる将来展望をめざし、第2期総合戦略に基づく成長分野への集中的かつ大胆な投資へと舵を切り、歩みを進めています。昨年12月、国

立社会保障・人口問題研究所により、日本の地域別将来推計人口が、5年ぶりに発表されました。そこで示された本市の2050年時点での人口推計は、41,138人。平成30年推計時の36,886人と比べると、約4,300人増加しています。この兆しを確固たる流れに変え、成長による好循環を実現することで、先人から引き継いだこの四條畷市をさらに発展させて次世代に引き継ぐべく、令和6年度においても、総合戦略に掲げる「みんなで未来を育むまち 四條畷」の理念のもと、各種事業を積極的に展開してまいります。

全文は
こちら



まちづくり

住環境の整備

住みたい・
住み続けたいまちへ

0.6億円

▶ 安心・安全で暮らしやすい 住環境づくり

子育て世代・若者世代を対象に、中古住宅のリフォーム費用の一部を補助する制度を新たに作り、空き家の解消、さらには定住の促進効果をねらいます。また、安全なまちづくりのため、旧耐震基準の木造住宅を取り壊す費用の一部補助を行うほか、建築基準法で道路後退が義務付けられる土地を対象に関連費用を補助し、道路環境をより良くしていきます。



▶ まちの核となる 公共施設の再編整備

四條畷南中学校跡地の整備に係る基本計画策定に着手。この跡地には、防災や地域コミュニティの機能を兼ね備えた多機能型体育館や、ボール遊びができる公園などを一体的に整備する方針です。また、市民総合センター・保健センターの用地に、市庁舎など8つの公共施設機能を集めた中核的施設の整備に向け、予備調査を始めます。



まちづくり

産業・地域活性化

地域で働き
快適に暮らせるまちへ

2.4億円

▶ 事業を支援し 地域経済の好循環を

令和5年度に市独自でスタートした「なわて事業者チャレンジ支援制度」を継続し、意欲ある既存事業者の設備導入、新規創業の初期費用などを支援します。また、制度を広く知ってもらうための周知にも取り組みます。

▶ 田原のまちづくり さらに前へ

まちびらきから30年以上有効活用されていなかった土地の活用など、魅力ある田原地域のまちづくりに向けた基本計画の策定に、市民・民間企業・行政が連携して取り組みます。また、田原地域の交通の課題解消に向け、令和3年度から実証実験を重ねてきた自動運転車(低速電気自動車)の運行を、地域ボランティアチーム「たわらコネクタート」と協働してスタートさせます。

▶ 魅力ある農業・農空間を 次世代へ

下田原地域では、約23ヘクタールの農地などを対象に、農地の区画や農業用道路・水路などの整備を行うほ場整備を行い、営農環境改善や生産性向上などを図ります。ほかにも、地元農業者主体で進めている府内でも珍しい小麦栽培など、魅力ある農業・農空間を育み次世代に継承する取り組みを、大阪府と連携して支援します。

